

# 水土里ネット ながの情報

NO. 5  
春号

長野県土地改良事業団体連合会  
土地改良のしるべ



## CONTENTS

---

- 就任あいさつ
- 第62回通常総会
- 農業農村整備優良地区コンクール及び  
第61回土地改良功労者等表彰
- 長野県からのお知らせ
- 人事異動
- 新規採用職員の紹介

長野県農政部農地整備課長

飯島 好文



この4月の人事異動により農地整備課長を務めさせていただくことになりました。

平素は、本県の農業・農村発展のため、会員の皆様には大変なお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、令和元年東日本台風の記録的な大雨により、農地に大量の土砂が流入し、農業用施設が大きく損壊するなど、農業関係における被害額は666億円余に達し、記録が残る災害では過去最大の規模となりました。被災された皆様には、心からお見舞い申し上げますとともに、農地・農業用施設の早期復旧に御尽力をいただきました皆様に深く感謝申し上げます。

さて、本県では、「稼ぐ農業を支える基盤整備の推進」、「持続的な農業生産活動を支える基盤づくり」、「地域の強みを活かした農村景観や地域資源の活用」を基本方向とした「長野県農業農村整備計画（第8次長野県土地改良長期計画）」に基づき、様々な事業を推進しております。

令和2年度は、防災重点ため池の耐震化や監視カメラの設置、排水機場のポンプ設備更新など防災減災対策に重点を置きつつ、農業用水を安定供給するための水利施設の長寿命化、農地の区画拡大、畑地かんがい施設の更新整備に取り組んでまいります。

さらに、高齢化や人口減少の進展が著しい中山間地域においては、中山間総合整備事業や多面的機能支払事業のほか、昨年施行されました「棚田地域振興法」に基づく各種事業を積極的に活用し、支援を行ってまいります。

また、会員の皆様に管理していただいている「疎水」や「ため池」といった農業資産には、歴史や物語、景観などの魅力も多く、それらを観光や次代を担う子ども達の学びに活用する取組も進めてまいります。

今後とも農業・農村の振興のため、県といたしましても全力で取り組んでまいりますので、皆様の一層の御支援、御協力をお願い申し上げ、就任の御挨拶とさせていただきます。



本会の第62回通常総会が、3月25日、長野市の土地改良会館で開催された。

はじめに、牛越会長職務代理者副会長、来賓の農政部所参事兼農地整備課長があいさつし、総会では令和2年度予算と事業計画、役員の退任に伴う欠員理事2名の補欠選任等の8議案が満場一致で承認された。議事終了後、決議書により7項目を決議した。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から規模を縮小して開催したため、同日開催予定であった第59回事業功労者表彰式は7月に延期する。

## 決 議

1. 安定的・計画的な事業執行が出来るよう、地域の要望を満たす予算を、当初予算で確保すること。
2. 台風第19号豪雨災害で被害を受けた農地・農業用施設の早期復旧と、被災農家の営農再開に向けた支援を継続して実施すること。
3. 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を延長し、災害に屈しない国土づくりを推進すること。
4. 改正土地改良法に基づく土地改良区の運営基盤強化に対する支援を継続して実施すること。
5. 農業用ため池の管理体制強化に向けた施策の更なる推進を図ること。
6. 農業土木技術者を確保し、農業の生産基盤を支える農地や農業用水利施設等の整備と適正な維持管理を着実に推進すること。
7. 農地や水路、農道の保全活動等が適切に実施できるよう、多面的機能支払制度への支援を図ること。

## 第59回事業功労者名簿

### 【特別表彰】

所属支部	氏 名	摘 要
松 本	上 原 政 史	長野県梓川土地改良区 事務局長

### 【一般表彰】

所属支部	氏 名	摘 要
上 小	足 立 道 行	(前) 上田市坂城町欠口土地改良区 理事長
	塩 入 重 信	(前) 上田市坂城町欠口土地改良区 副理事長
	足 立 勉	(前) 上田市坂城町欠口土地改良区 総括監事
上伊那	宮 原 惺	伊那市六道原土地改良区 理事長
松 本	中 村 武 雄	(前) 朝日村長
	三 浦 弘 善	(前) 松本市女鳥羽川土地改良区 理事長
	西 村 憲 太 郎	(前) 松本市薄川土地改良区 理事長
北安曇	降 旗 豊 美	高瀬川右岸土地改良区 理事長
	伊 藤 昭	高瀬川右岸土地改良区 理事
長 野	池 田 和 雄	(前) 信濃町野尻土地改良区 理事長
	中 島 一 教	(前) 長野県川中島平土地改良区 理事長
	石 川 広 之	(前) 信濃町土地改良区 理事長
	松 村 修	(前) 信濃町土地改良区 総括監事
	両 角 邦 夫	(前) 清野土地改良区 理事長
	宮 川 剛	河東土地改良区 総務主任
	西 沢 敏 宏	川田土地改良区 事務主任兼会計主任
北 信	小 林 美 幸	中野市西部土地改良区 嘱託職員

## 藤原会長、白鳥専務理事、所常務理事が就任

第62回通常総会で退任に伴う役員2名の補欠選任が行われ、本会の定款に基づき各支部から選ばれた選衡委員が協議し、前川上村長の藤原忠彦氏、員外より所弘志氏を総会に諮り、満場一致で承認された。任期は、藤原忠彦理事については令和2年3月25日から、所弘志理事については令和2年4月1日から、現任役員の任期である令和5年3月31日をもって満了とする。

総会終了後の理事会で、会長、専務理事、常務理事の互選が行われ、会長に藤原忠彦氏、専務理事に白鳥公晴氏、常務理事に所弘志氏が選任された。



新たに就任された藤原会長、白鳥専務理事、所常務理事

# 令和元年度 全国の優良地区・団体・功労者 2 団体が農林水産大臣賞受賞

## 農業農村整備優良地区コンクール、第61回全国土地改良功労者等表彰、21世紀土地改良区創造運動表彰

全土連は、本年度の「農業農村整備優良地区コンクール」、「第61回全国土地改良功労者等表彰」、「21世紀土地改良区創造運動表彰」の受賞者を発表した。

長野県からは、農業農村整備優良地区コンクール（中山間地域等振興部門）農林水産大臣賞に1地区、（農業振興部門）全国水土里ネット会長賞に1地区、第61回全国土地改良功労者等表彰の農林水産大臣表彰に1団体、団体表彰に2団体、個人表彰に2名が選ばれた。



第61回全国土地改良功労者等表彰

### 農林水産大臣表彰

#### 大田市土地改良区

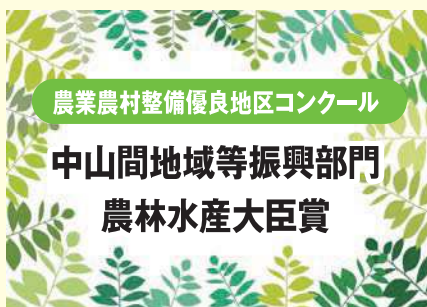
◎所在地 大田市 ◎設立年月日 昭和32年10月30日 ◎地区面積 1,407ha

当土地改良区は、管理する越荒沢堰の漏水と用水不足等を解消するため、県営農業用水再編対策事業（地域用水機能増進型）を導入した。当該水路の役割について地域住民の理解を深めるため、当土地改良区が中心となり「水土里ネットおおまち地域用水対策協議会」を設立し、農業用水を地域住民とともに守るための体制を構築した。

多面的機能支払交付金活動では、当土地改良区の区域内の活動組織が行う資源向上支払（施設の長寿命化）について、工事発注や現場管理等を受託し事務支援を行うことで、基幹的水利施設を管理する土地改良区と末端水路を管理する活動組織との連携がより強固になり、上流と下流の一貫した水路管理が行われている。



▲越荒沢堰の親水広場  
地域住民の憩いの場となっている



農業農村整備優良地区コンクール

### 中山間地域等振興部門 農林水産大臣賞

#### 大平地区（富士見町）

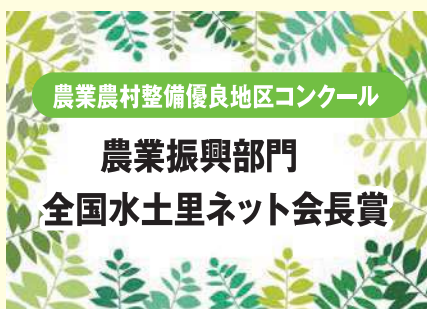
### 汎用化した農地に「野菜のテーマパーク」を整備 農業・工業・観光が一体となり年間3万人が来場

富士見町は、ハケ岳と南アルプスに囲まれた高原地帯で水稻栽培と冷涼な気候を活かした野菜づくりが盛んであったが、近年は農家の高齢化と後継者不足が深刻化。なかでも大平地区では農地の約3割が遊休化する事態となっていた。

そこで、富士見町では「農業の成長産業化」を方針として掲げ、「カゴメ（株）」、富士見町、大平地区の三者で、農業・工業・観光が一体となった「野菜のテーマパーク」を整備し、平成31年4月「カゴメ野菜生活ファーム富士見」をオープンした。農業・工業・観光を担う事業者の相互連携により、6次産業化や地域ブランド化が進み、現在はこのテーマパークに年間3万人が来場する人気スポットに成長した。



▲地域と官民が連携して開園した  
野菜テーマパーク



農業農村整備優良地区コンクール

### 農業振興部門 全国水土里ネット会長賞

#### 池田南部地区（池田町）

### 荒廃農地を再生しワイン用ブドウを生産 大手メーカーとの契約栽培で収益も安定

池田町は長野県北西部の北アルプス地域に位置し、明治初期から養蚕業が盛んで桑園が広がっていたが、養蚕業が衰退すると地区一帯の桑園は荒廃し遊休化が進んだ。この事態を受け、池田町が着目したのはワイン用ブドウの栽培だ。

池田町では平成14年から22年にかけて、池田南部地区において畑地帯総合整備事業を実施すると同時に、民間企業の参入と地元生産者の育成を推進した。

本地区で生産されるワイン用ブドウは品質が高く、大手酒造メーカーのプレミアムワインの原料に採用され、国内外のワインコンクールで複数の受賞を果たした。地区内の2つの担い手法人は、それぞれメルシャン、サッポロと提携して契約栽培を行い安定的な収益を確保している。



▲基盤整備により再生されたワイン用ブドウ園



第61回全国土地改良功労者等表彰

## 金章

### 小諸市御牧原土地改良区

◎所在地 小諸市 ◎設立年月日 昭和30年4月27日 ◎地区面積 150ha

当地区は、干ばつの常襲地域で、特に稲作では天水に頼った営農を余儀なくされていたが、昭和36年から昭和46年に蓼科山からの水利確保計画を取り入れた県営御牧原農業水利改良事業により水利状況が改善され、受益地まで幾つもの水利施設を介しながら流下する蓼科山麓の湧水が、一帯を潤している。

水利を共有する他の市町村の土地改良区と北佐久郡川西土地改良区連合を結成し、幹線の改修工事等は土地改良区連合が実施し、単位土地改良区にあたる当土地改良区は主に受益地内の水路改修やため池配水選任役員を設け、ため池の配水作業を行っている。

これまで主流であった水稻栽培から、果樹（リンゴ）やワイン用ブドウ栽培を行う目的で新規就農する者が増えていることに伴い、意欲的な就農者を応援し耕作放棄地を減少させるため、畑地での灌漑用水使用を推奨している。

第61回全国土地改良功労者等表彰

## 銀章

### 中信平土地改良区連合

◎所在地 松本市 ◎設立年月日 昭和51年4月7日 ◎地区面積 8,847ha

当地区の主水源である梓川は、流量の年間変動が大きく水田への用水供給は不安定であり、畑地帯は水源施設がなく常習の干ばつ地域であったことから、国及び県営事業による梓川頭首工及び幹線水路を造成、併せて関連事業により農業基盤整備を行い、用水の安定供給と農業経営の安定を図ってきた。

当連合は、長野県梓川、東筑摩郡波田堰、東筑摩郡黒川堰、長野県中信平右岸、長野県中信平左岸の5土地改良区を総括し、梓川から引水する梓川頭首工並びに梓川頭首工から上海渡分水工までの農業用水、右岸上段幹線分水工から黒川堰分水工までの農業用水路の維持管理、発電事業の操作委託を行っている。また、協定に基づく灌漑用水の円滑な配水を行い、農業生産性の向上と経営の安定を図っている。

第61回全国土地改良功労者等表彰

## 個人表彰

◎阿藤 秀雄氏（中野市西部土地改良区理事長）

氏は、農作物の低迷、高齢化等厳しい農業情勢の中、施設の維持管理及び土地改良区の健全運営の中核を担ってきた。長年の課題であった雨量が少なく干ばつを受けやすいという地域の特徴を解消し、安定した農業実現のため、県営畑地帯総合土地改良事業により畑かん施設の工事を実施し、干ばつ時も安定した果樹経営ができるようになった。また、老朽化が進んだ施設については、市・県と協議し、水利施設整備事業等の導入に尽力した。

第61回全国土地改良功労者等表彰

## 個人表彰

◎丸山 幹彦氏（長野県伊那西部土地改良区連合次長）

氏は、かんがい期の揚水機場の運転操作、各施設の巡視及び非かんがい期の補修等の現場業務に尽力してきた。また、県内の土地改良区及び連合の中でも先駆けてホームページの作成を手掛け情報発信を行ったり、県農地整備課が主催の小学生を対象にした農業用水について知ってもらう活動『農業用水体験隊』では、土地改良区及び管理する施設の役割や重要性について説明を行ったりと、土地改良区の啓発普及の活動に大きく貢献してきた。

県内の用水や水田を次代へつなぐために

「長野県の米づくり」に関する学習教材を制作しました

長野県内で営まれている米づくりのことを、次代の農業を担う小学生に学んでもらうため、社会科の授業で使える副教材を制作しました。

現在、小学5年生社会科の「米づくり」に関する学習に使われている教科書には、長野県の米づくりの特徴とは異なる、山形県庄内平野の広大な水田地帯の事例が用いられています。そのため、長野県の特徴を踏まえ、米づくりにとって不利な条件である急峻な地形や冷涼な気候を克服してきた努力や工夫、農業水利施設を守る人々の存在などについて学習してもらうために制作したものです。

この中では、大人でも知らない人が多い「頭首工」などの施設や、施設を守る「土地改良区」の役割などを解説するとともに、これからの農業の姿を学んで、考えてもらう内容としています。また、米づくりの苦労や喜びが味わえる「すごろく」も掲載しています。

制作に当たっては、教育現場の先生方に監修していただき、小学生でも理解しやすい内容となっています。今年度、県内全ての小学5年生に配布する予定です。



**用水路などを管理する人たち**  
水田まで水を届ける用水路は、土地改良区や水利組合によって管理されており、地域のとりきめによる水の分配や、大雨が降ったときの水門の操作などが行われています。

**ことば** 土地改良区・水利組合  
用水路や頭首工などの施設を管理や修理するために、農家の人々が集まって組織された団体。県内の土地改良区の数：108団体

**長野県善光寺平土地改良区 長沼さんの話**  
用水がきちんと行きわたるように調整したり、大雨のときに水路から水があふれないように水門を操作したりすることが、わたしたちの大切な仕事です。また、水路の草刈り、どろ上げなどの日常的な管理や、施設がこわれたときの修理も行います。施設がこわれると大きな事故にもつながるので、古くなった施設の点検や修理をこまめに行っています。

**調べ** あなたが住んでいる地域の水路を管理している団体を調べて、話を聞いてみよう。

管理する団体がわからないときは、地域振興局の農地整備課で教えてくれるよ！

**長野県庁 所さんの話**  
県内にたくさんある施設を、土地改良区、水利組合、農家のみなさんが役割を分担しながら管理しています。用水は、火事を消す水や、水辺の生き物が育つ水としても重要です。地域のみんなが協力して守っていきましょう。安定した用水を届ける施設やそれを守る人たちがいることで、意欲ある農家がより生産性の高い農業に挑戦することができます。

**ことば** 頭首工  
用水路のいちばん上流で、河川から水を取るための施設。水田に水を届ける用水路の多くは、河川につくられた頭首工から水を取り、水田まで導いています。

**松本市 梓川頭首工**  
県内で最も大きな頭首工は、松本市にある梓川頭首工で、約10,000haの農地に水を届けています。

県では、疏水、ため池、棚田などの農業資産が持っている役割、歴史、景観などの魅力を「学び」の教材として活用することにより、子どもたちの郷土愛を育むとともに、より多くの方々に、施設を次代へ引き継ぐための維持管理の大切さを理解してもらう取組を進めています。

この副教材は、施設を管理する市町村、土地改良区等にも配布しますので、ぜひご覧いただくとともに、小学校から施設見学や出前授業の依頼がありましたら、可能な限りご協力をお願いいたします。

内容についてのお問い合わせ先  
農政部 農地整備課 計画調査係  
☎ 026-235-7237 (直通)

本副教材は、長野県ホームページからダウンロードできます。

長野県の米づくり 副教材

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/fukukyouzai.html>



## 令和元年東日本台風から半年 復旧工事が進んでいます

令和元年10月11日から13日にかけての台風第19号の記録的な大雨から半年が経過しました。県では、市町村及び長野県土地改良事業団体連合会と連携し、被害状況調査や災害復旧事業に取り組んできました。現在、営農の再開に向け、復旧工事が進んでいます。

### 1 査定状況

令和元年12月2日から災害査定を実施し、査定額は、**31,893,913千円（3,667箇所）**

#### <農地 内訳>

(単位：千円)

区分	田	畑	計
箇所数	558	2,353	2,911
査定額	3,930,470	13,033,000	16,963,470

#### <農業用施設 内訳>

(単位：千円)

区分	取水施設	水路	用排水機場	農場	その他※	計
箇所数	330	224	37	140	25	756
査定額	6,461,962	2,262,407	5,449,844	546,235	209,995	14,930,443

※ ため池、橋梁など

### 2 復旧状況

#### (1) 農業用水の確保に向けた対応（主に佐久・上田地域）

水稻の作付けまでに、取水施設の機能回復を進め、被災した771箇所のうち、758箇所で農業用水を確保しました。残る13箇所では、転作などの営農指導を進めています。

#### (2) 畑・果樹園の土砂撤去（主に長野・北信地域）

千曲川沿いの畑・果樹園858haに、5cmから約60cmの土砂が堆積したため、現在、建設会社が土砂の撤去作業を進めています。

4月末までに約7割の農地で土砂撤去が完了し、防除作業、剪定作業が始まりました。



千曲川を横断するサイホンの復旧（佐久市）



千曲川沿いの果樹園の土砂撤去（須坂市）

#### (3) 市町村への支援

佐久、上田、長野、北信地域振興局の農地整備課に農業土木技術職員を増員しており、引き続き、早期復旧に向けて市町村を支援してまいります。

## ◎人事異動(農林水産省)

### 農林水産省農村振興局 (4月1日付)

\*幹部のみ掲載

#### 農村政策部

##### 地域振興課

中山間地域・日本型直接支払室長  
(農村振興局整備部地域整備課農村整備調査官) 平山 周作

##### 都市農村交流課

農泊推進室長  
(農村振興局総務課調査官兼農村振興局整備部設計課付) 富田 晋司

#### 整備部

##### 設計課

計画調整室長(農村振興局整備部設計課付) 登り 俊也

施工企画調整室長(近畿農政局農村振興部設計課長) 志村 和信

##### 水資源課

農業用水対策室長  
(農村振興局農村政策部都市農村交流課農泊推進室長) 植田 康成

### 農林水産省農村振興局退職 (3月31日付)

農村振興局整備部水資源課農業用水対策室長  
(独立行政法人水資源機構経営企画本部経営企画部次長へ) 山田 美紀

農村振興局整備部設計課計画調整室長  
(石川県参事(農林担当)へ) 石井 克欣

### 農林水産省関東農政局 (4月1日付)

\*幹部のみ掲載

#### 農村振興部

##### 農村計画課

課長(中国四国農政局農村振興部農村計画課長) 宗田 功

##### 事業計画課

課長(関東農政局西関東土地改良調査管理事務所次長) 栃木 能夫

##### 用地課

課長(北陸農政局農村振興部用地課課長補佐(総務)) 小林 良則

##### 農地整備課

課長(東北農政局仙台東土地改良建設事業所次長) 大黒 理

##### 地域整備課

課長(国土交通省土地・建設産業局企画課長補佐) 佐々木一郎

##### 防災課

課長(東海農政局新濃尾農地防災事業所次長) 大本 修

### 農林水産省関東農政局退職 (3月31日付)

農村振興部長  
(国立研究開発法人国際農林水産業研究センター農村  
開発領域長兼プロジェクトリーダーへ) 進藤 惣治

農村振興部農地整備課長(定年退職) 中嶋 英夫

農村振興部用地課長(定年退職) 井出 定男



# ◎人事異動(長野県)

県 (4月1日付)

## 農政部

### 農地整備課

農政部長(農政技監兼農業技術課長)

伊藤 洋人

課長(長野地域振興局農地整備課長)

飯島 好文

企画幹兼課長補佐兼管理係長(東京事務所課長)

塚原 仁

主任専門指導員(南信州地域振興局農地整備課企画幹)

小林 照男

副主任専門指導員

(松本地域振興局農地整備課課長補佐兼水利係長)

和田 光由

農地・水保全係担当係長

(農地整備課付研修派遣【長野県土地改良事業団体連合会】)

### 佐久地域振興局農地整備課

企画幹兼水利防災係長

(副参事兼上田地域振興局農地整備課課長補佐兼計画調査係長)

粕尾 明弘

課長補佐兼管理係長(佐久地域振興局農地整備課管理係長)

市川 和宣

副参事兼課長補佐兼計画調査係長

(副参事兼佐久地域振興局農地整備課課長補佐兼水利防災係長)

清原 雅浩

課長補佐兼基盤整備係長

(長野地域振興局農地整備課防災第一係担当係長)

安田 和雄

### 上田地域振興局農地整備課

課長(木曾地域振興局農地整備課長)

松川 敦

企画幹兼水利防災係長(農地整備課副主任専門指導員)

中村 克彦

課長補佐兼計画調査係長(農地整備課計画調査係担当係長)

安永 浩和

課長補佐兼基盤整備係長

(上田地域振興局農地整備課基盤整備係担当係長)

片桐 一也

### 諏訪地域振興局農地整備課

課長補佐兼管理係長(伊那建設事務所総務課工事事務係長)

小島 奈美子

副参事兼課長補佐兼計画調査係長

(松本地域振興局農地整備課課長補佐兼防災係長)

山本 慎一

課長補佐兼水利・基盤整備係長

(南信州地域振興局専門幹兼農地整備課水利防災係長)

福岡 誠志

### 上伊那地域振興局農地整備課

副参事兼課長補佐兼計画調査係長

(副参事兼南信州地域振興局農地整備課課長補佐兼計画調査係長)

竹下 博秀

課長補佐兼基盤整備係長(木曾地域振興局農地整備課技術専門員)

武田 健

### 南信州地域振興局農地整備課

課長(農地整備課主任専門指導員)

市瀬 広幸

企画幹(上田地域振興局農地整備課課長補佐兼水利防災係長)

本田 徹

課長補佐兼計画調査係長

(南信州地域振興局農地整備課課長補佐兼基盤整備係長)

片山 亘浩

課長補佐兼基盤整備係長

(諏訪地域振興局農地整備課課長補佐兼水利・基盤整備係長)

塩原 秀峰

### 木曾地域振興局農地整備課

課長(長野地域振興局農地整備課企画幹兼防災第一係長)

高林 栄治

### 松本地域振興局農地整備課

課長(上田地域振興局農地整備課長)

松本 寛

課長補佐兼計画調査係長

(上伊那地域振興局農地整備課課長補佐兼計画調査係長)

佐々木 良仁

課長補佐兼水利係長(南信会計センター主任工事検査員)

村瀬 敏

課長補佐兼防災係長(農地整備課農地・水保全係担当係長)

小出 晃裕

### 長野地域振興局農地整備課

課長(南信州地域振興局農地整備課長)

平林 孝保

企画幹兼防災第一係長

(松本地域振興局農地整備課課長補佐兼計画調査係長)

林 俊史

課長補佐兼地盤整備係長

(松本地域振興局農地整備課水利係担当係長)

桐山 准



みどり  
**水と里ネットながの**  
**土地改良のしるべ**

---

発行：令和2年4月20日（年4回発行）  
発行所：長野県土地改良事業団体連合会  
〒380-0838 長野市大字南長野字宮東452番地の1  
TEL026-233-4281 <http://www.nag-doren.or.jp>  
土地改良のしるべ編集人：白鳥 公晴